

中間評価（表紙）

桑折町 歴史的風致維持向上計画(平成28年3月28日認定)
中間評価(平成28年度～令和2年度)

■ 統括シート(様式1).....	2
■ 方針別シート(様式2)	
I 桑折西山城跡等伊達氏関連遺跡の保存・整備・活用.....	3
II 良好な町なみ整備・管理と周辺環境の景観保全.....	4
III 歴史的風致の認識向上.....	5
IV 情報発信、周遊性の向上.....	6
V 歴史と伝統を反映した人々の活動の継承.....	7
■ 波及効果別シート(様式3)	
i 桑折西山城跡における来場者の増加.....	8
ii 歴史を活かしたまちづくり事業による認識の向上.....	9
■ 代表的な事業の質シート(様式4)	
A 史跡桑折西山城跡整備事業.....	10
B 歴史を活かしたまちづくり事業.....	11
■ 歴史的風致別シート(様式5)	
1 伊達氏発祥の地にみる歴史的風致.....	12
2 桑折宿と諏訪神社の夏祭りにみる歴史的風致.....	13
3 西根堰と水路網に見る歴史的風致.....	14
4 阿武隈川氾濫原と果樹栽培にみる歴史的風致.....	15
5 半田の京都祇園囃子にみる歴史的風致.....	16
■ 庁内体制シート(様式6).....	17
■ 住民評価・協議会意見シート(様式7).....	18
■ 全体の課題・対応シート(様式8).....	19

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
① 歴史的風致			
	歴史的風致	対応する方針	
1	伊達氏発祥の地にみる歴史的風致	Ⅰ、Ⅲ	
2	桑折宿と諏訪神社の夏祭りにみる歴史的風致	Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ	
3	西根堰と水路網にみる歴史的風致	Ⅱ、Ⅲ	
4	阿武隈川氾濫原と果樹栽培にみる歴史的風致	Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	
5	半田の京都祇園囃子にみる歴史的風致	Ⅲ、Ⅴ	
② 歴史的風致の維持向上に関する方針			
	方針		
Ⅰ	桑折西山城跡等伊達氏関連遺跡の保存・整備・活用		
Ⅱ	良好な町なみの整備・管理と周辺環境の景観保全・形成		
Ⅲ	歴史的風致の認識向上		
Ⅳ	情報発信、周遊性向上		
Ⅴ	歴史と伝統を反映した人々の活動の継承		
③ 歴史まちづくりの波及効果			
	効果		
i	桑折西山城跡における来場者の増加		
ii	歴史を活かしたまちづくり事業による認識の向上		
iii			
④ 代表的な事業			
	取り組み	事業の種別	
A	史跡桑折西山城跡整備事業	歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
B	歴史を活かしたまちづくり事業	その他	

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
方針	I 桑折西山城跡等伊達氏関連遺跡の保存・整備・活用	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】史跡桑折西山城跡は、公有化や調査が進められ、町民ボランティア等の協力を得ながら維持管理を行ってきたが、樹木が茂り、山城からの眺望が遮られていた。駐車場、ガイダンスがなく、城跡へのアクセスが容易でなかった。その他、万正寺の大カヤの周辺には、住宅や民有地がある等、見学に支障があった。
 【方針】史跡桑折西山城跡は、復元整備を行い、気軽に来訪できるよう、アクセス道、ガイダンス機能等を整備する。その他の伊達氏関連遺跡では、町内外の来訪者に伊達氏の時代を体感できるよう、桑折西山城跡との連携を考慮した遺跡周辺の環境整備に努める。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	史跡桑折西山城跡整備事業	遺構平面復元、遊歩道等設置、樹木伐採、ガイダンス施設設置	あり	H28～R2
2	史跡桑折西山城跡周辺整備事業	史跡指定地外等の遊歩道、サイン等設置	あり	H28～R3
3	万正寺の大カヤ周辺整備事業	天然記念物樹木周辺の広場、支柱等設置	あり	H28～R3
4	全国山城サミット桑折大会開催事業	桑折西山城復元祭、全国山城サミット桑折大会プレ大会及び本大会開催	なし	R1～R3

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

歴史的風致維持向上計画策定前から取り組んできた史跡桑折西山城跡整備事業を核とし、史跡の周辺整備、関連文化財の万正寺の大カヤ周辺や観音寺周辺整備を併せて、伊達氏関連遺跡を巡回できる整備を行っている。史跡そのものの整備は令和2年度で完了し、発掘調査で確認された建物跡遺構の平面表示復元がなされ、戦国時代の山城を体験できるようになった。かつ、周辺の遊歩道、サイン等が整備され、アクセスが格段に向上しつつある。

令和3年度に桑折西山城跡を中心とする「全国山城サミット桑折大会」を開催するため、3ヶ年計画で準備を進める体制に入り、城郭研究の第一人者千田嘉博氏等の講演を城跡現地で体験できる「桑折西山城跡復元祭」を皮切りに、プレ大会として「桑折西山城ライブ2020」を開催し、史跡等に対する認識も向上しつつある。



平面表示復元された桑折西山城跡本丸中心建物



桑折西山城復元祭 城跡現地で歴史トーク



全国山城サミット桑折大会プレ大会 全国大会の誘致を宣言

④ 自己評価

史跡本体と周辺の整備が進んだことにより、遺構の顕在化、眺望が格段に良くなり、来訪者の増加により交流人口の拡大を図ることができた。整備の進捗に合わせ、城跡の活用イベント開催を町民各団体と共同で開催したことにより、町民の歴史遺産に対する認識が深まり、後世に受け継いでいく体制を整えることができた。

⑤ 今後の対応

歴史的遺産を後世に伝える機運の醸成が図られてきたことから、史跡の管理を町民と協働で行う。保存会等の団体を設立する。

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
方針	Ⅱ 良好な町なみ整備・管理と周辺環境の景観保全	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】桑折宿には、江戸時代から続く町割りと古い住宅や蔵等が残されているが、調査が不十分であり、建造物の価値が正当に評価されていない。街道に沿って町なみが見渡せるが、景観を阻害する看板や電線等が存在する。西根堰とその分水路は、三面コンクリート化や石組水路のU字溝化され、良好な景観が維持できなくなっている。「桃源郷」と伊達崎地区の果樹栽培の景観は、規制がないため、屋外広告物等安易な開発を招きかねず、阿武隈川の現堤防により、川との関りが薄くなっている。

【方針】地域住民の理解を得ながら景観計画や景観条例の制定を検討し、良好な景観形成を目指す。桑折宿やそれ以外の地区の歴史的建造物を文化財や歴史的風致形成建造物に指定し、維持・管理に係る支援を講ずる。西根堰については、親しみを持てるような親水空間を整備する。桃源郷の景観を守るため、農地における景観計画の導入を検討する。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業	建造物の調査	あり	H28～R7
2	旧伊達郡役所周辺整備事業	周辺の門扉、塀柵の整備	あり	R2～R5
3	屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業	建造物の調査	あり	H28～R7
4	桃源郷周遊性向上事業	かわまちづくり周遊ルート設定	あり	H31～R3

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

桑折宿の歴史的建造物を調査し、良好な景観維持に向けてどのような施策があるか検討してきたが、令和3年3月の福島県沖地震により歴史的建造物が再び被災し、事業に見直しが必要となった。

老朽化した伊達郡役所周辺の門及び柵を景観に配慮した改修を行うため、明治期の古写真に基づき再現する実施設計を行った。

桃源郷の果樹畑と阿武隈川を一体化した整備を行うため、「桑折町かわまちづくり計画」を策定し、市街地から果樹地帯、川を巡ることができる周遊ルートを設定し、サイン等を整備した。かわまちウォーキングが行われる等、活用が図られた。

コロナ禍の中、歴史的建造物を活用し、中心市街地に賑わいを取り戻すため、旧伊達郡役所をライトアップ、イルミネーションを設置し、ミニコンサートを開催する「光の街KOORI2020」事業を開催した。



再現する明治の旧伊達郡役所門扉柵



かわまちウォーキングコースの標柱と桃畑に行くかあぶくまウォークの様子



旧伊達郡役所ライトアップ点灯式

④ 自己評価

桑折宿の景観整備について、建造物を保存、活用していく具体的な施策には至らず、地震による被害で一部建物の取壊しが計画される等、維持向上に繋がらなかった。中心市街地の核となる旧伊達郡役所周辺の景観形成に着手し、かつ、旧伊達郡役所で建造物の活用事業を行うことにより、桑折宿から阿武隈川氾濫原の果樹畑に至る周遊ルートが確立し、事業を展開することができた。

歴史的建造物を活用し、イベントを開催することにより、多少なりとも賑わいを取り戻すことができた。

⑤ 今後の対応

旧伊達郡役所門扉塀柵を明治期の様子を再現する整備工事の実施。
福島県沖地震で歴史的建造物に被害があったため、今後の対応穂往診について関係者と協議を進める。

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
方針	Ⅲ 歴史的風致の認識向上	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】少子化、核家族化等生活様式の多様化から、歴史的価値の認識が語り継がれる機会が失われつつある。地域でのつながりの希薄化により、歴史的建造物、伝統・文化を身近に感じる機会が少なくなっている。

【方針】歴史的風致の認識向上には、町民の理解が不可欠であり、地域の歴史や文化を学習するための副読本等の作成や小中学生への配布、講演会、シンポジウム、イベントの開催を通じ、歴史的風致に接する機会を提供する。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業	歴史まちづくり講演会、全国山城サミット開催	あり	H28～R2
2	歴史・文化財学習講座	歴史講座開催	あり	H28～R3
3	歴史案内人育成事業	歴史案内人育成講座開催、案内人事業展開	あり	H28～R3
4	小中学生の認識向上推進事業	社会科、総合学習への講師派遣、町内歴史遺産案内	あり	H31～R3
5	全国山城サミット桑折大会事業	桑折西山城復元祭、全国山城サミット桑折大会プレ大会「桑折西山城ライブ2020」	なし	H31～R3

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

平成28年より桑折町の歴史的遺産を題材にした「歴史まちづくり講演会」を開催し、町内外に歴史文化を大切にする意識を醸成した。令和元年度からは、史跡桑折西山城跡整備事業とリンクさせ、令和3年度に「全国山城サミット」を開催するため、3ヶ年計画で準備を進める体制に入り、城郭研究の第一人者千田嘉博氏等の講演を城跡現地で体験できる令和元年度「桑折西山城復元祭」を皮切りに、令和2年度には、プレ大会「桑折西山城ライブ2020」を開催した。小中学生の社会科、総合学習等で桑折西山城跡をはじめとした歴史遺産の講座開催、講師派遣をすることにより、子どもたちを含めて町固有の歴史遺産の認識も向上しつつある。

旧伊達郡役所や種徳美術館の企画展等を行い、町内の歴史文化を紹介した。テーマを歴史まちづくり講演会や山城サミット事業とリンクさせることで相乗効果をもたらした。

歴史案内人育成講座を開催し、桑折町歴史案内人を認定、町内外の来訪者の案内を展開している。



関連付けて開催した種徳美術館「桑折町の仏教文化展(上)」と歴史まちづくり講演会(平成30年度)



全国山城サミット桑折大会プレ大会 実行委員会は甲冑着用でおもてなし

④ 自己評価

歴史まちづくり講演会事業を桑折西山城跡整備事業や種徳美術館の企画展等と関連づけて開催することにより、歴史認識を向上できた。史跡桑折西山城跡整備事業完成を機に、令和3年度に「全国山城サミット桑折大会」を開催するため、3ヶ年計画で事業を進め、史跡等に対する認識も向上しつつあり、守る会等の発足の機運も醸成しつつある。

⑤ 今後の対応

歴史的遺産を後世に伝える機運の醸成が図られてきたことから、史跡の管理を町民と協働で行う。「守る会」等の組織を設立する。

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
方針	Ⅳ 情報発信、周遊性の向上	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】東日本大震災からの復旧・復興を進め、観光客数は徐々に回復しつつあるが、本来の人数には戻っていない。また、訪日外国人観光客に対して、本町では、多言語のパンフレット、案内標識らが整備されてこなかった。

【方針】町内に点在する歴史や文化に関する案内標識を¥のデザインを統一しながら新設、老朽化したものの更新を図り、機能を充実させる。多言語化を含めた分かりやすいパンフレットを発行することにより、町外に向けて積極的にPRし、交流人口の増大を図る。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	周遊性向上・案内板等整備事業	案内板新設（桑折西山城跡等）、老朽案内板の更新（旧伊達郡役所、奥州・羽州街道追分等）	あり	H28～R7
2	桃源郷周遊性向上事業	桑折かわまちづくりウォーキングコース設置、桃の郷トイレ改修事業	あり	H29～R3
3	多言語周遊型観光パンフレット作製事業	旧伊達郡役所パンフレット（英語版）、伊達氏発祥の地桑折パンフレット、桑折西山城跡散策マップ	あり	H28～R3

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

史跡桑折西山城跡整備事業の一環として、城内外の案内板を整備し、遺構の解説やアクセス表示を行った。また、老朽化して見えにくくなった案内板の更新を図った。案内板のデザインは、既設の「歴史の小径」案内板の様式に統一して設置した。

令和元年度より「桑折かわまちづくり事業」として、伊達崎地区にある桃源郷と中心市街地を結び付けた「桑折かわまちづくりウォーキングコースを設定し、案内標識を設置し、実際にウォーキング大会を開催する等の活用を行った。

令和元年度からの「桑折西山城復元祭」「全国山城サミット桑折大会プレ大会『桑折西山城ライブ2020』開催に合わせ、「桑折西山城跡散策マップ」を作製し、整備が進んだ城跡のPRと内容紹介を図った。「伊達氏発祥の地桑折」パンフレットや「桑折歴史散歩」パンフレットの増刷の際に、内容の更新と充実を図った。また、「旧伊達郡役所パンフレット（英語版）」を作製し、外国人観光客へ歴史遺産への認識が深められるようにした。

一方、旧桑折宿周辺を回遊するための案内看板やマップ等の作成は、令和3年3月の福島県沖地震により歴史的建造物が被災し、事業に見直しが必要となっている。



史跡桑折西山城跡総合案内板 縄張図と写真を活用して城跡の全体を案内



外国人観光客が「旧伊達郡役所」パンフレット（英語版）を片手に見学

④ 自己評価

これまで解説や案内のなかった桑折西山城跡については、案内板を設置し、パンフレットや大かや園に設置されたガイダンス施設を含めて城跡全体の周遊性を向上させることができた。

老朽案内板の更新やパンフレットの刷新も進んでおり、町全体の周遊性の向上と町内外に向けて、本町の歴史遺産を内外にPRできた。

⑤ 今後の対応

桑折西山城跡や万正寺の大かや等の歴史遺産を、既存の「歴史の小径」等と連動させて、伊達氏関連遺跡や旧伊達郡役所等中心市街地と結び付けた周遊コースの設定を行いたい。

桑折宿周辺の案内板設置やガイダンス施設整備については、見直しを行う。

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
方針	V 歴史と伝統を反映した人々の活動の継承	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】少子高齢化による後継者不足や人員不足により各地区神社の祭礼が活動の規模を縮小されつつある。祭礼で使用する楽器や神輿、山車等の修繕への負担が困難となっている例もある。文化財や伝統文化の保護・愛護を続けている団体の会員高齢化や後継者確保が問題となっている。
 【方針】地域の祭礼や伝統行事の活動の様子を記録し、周知を行う。担い手確保や後継者育成、道具の整備修繕に対する支援を行う。保護・顕彰団体の活動を継続させるための支援を行う。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	地域の文化遺産の調査及び継承支援事業	祭礼等調査、保存団体支援事業	あり	H28～R3
2	文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業	文化財保存会支援、歴史を活かした事業展開への支援	あり	H28～R3
3				
4				

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

各地区の神社の祭礼を調査、記録を作成した。諏訪神社例大祭で6年毎に行われる「御柱祭」や、益子神社例大祭の様子等を「桑折町歴史散策映像」に収録し、町ホームページや旧伊達郡役所で公開し、町の伝統芸能を広めることができた。

一部が町指定無形民俗文化財になっている京都祇園囃子について、連絡協議団体である桑折町祇園ばやし振興会に補助金を交付し、支援を図り、各個別の保存会に全国山城サミット開催事業で発表の機会提供や、一般コミュニティー助成事業を活用し、山車や太鼓等の購入や修理に補助金を交付した。

文化財保護活動を行っている桑折町文化財保存会に補助金を支交付し、未指定文化財の保存・修理や、案内板等設置事業に活用が図られた。また、桑折町商工会の町内歴史遺産を活用した歴史ツアーの企画に案内人を派遣する支援を行った。



伝統芸能調査 伊達崎熊野神社の稚児舞



伝統芸能保存団体支援 山城サミット桑折大会プレ大会での「祇園囃子」披露（桑折若連協議会）



文化財保護団体への支援 桑折町商工会「伊達氏発祥の地ツアー」への案内人派遣

④ 自己評価



伝統芸能を記録し、動画として発信することや、行事のときに伝統芸能披露を行うことにより、京都祇園囃子等を内外に発信することができた。

桑折町祇園ばやし振興会が解散したが、各地区で個別の保存団体が活動し、継承は維持できている。

⑤ 今後の対応

祇園囃子保存団体については、令和2年に連絡協議団体であった「桑折町祇園ばやし振興会」が解散したため、個別の保存団体を支援する方法で対応する。桑折町文化財保存会を支援し、歴史的風致維持向上計画で整備した歴史遺産の保存と活用に力を入れる。

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2年																
効果	i 桑折西山城跡における来場者の増加																		
<p>① 効果の概要</p> <p>平成27年度に302人だった桑折西山城跡の来場者数が、整備事業の進捗や、全国山城サミット関連事業の取組により増大している。</p>																			
<p>② 関連する取り組み・計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>他の計画・制度</th> <th>連携の位置づけ</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>史跡桑折西山城跡整備実施計画</td> <td>あり</td> <td>H24～R2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」</td> <td>あり</td> <td>H29～33</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>都市再生整備計画</td> <td>なし</td> <td>R1～35</td> </tr> </tbody> </table>					他の計画・制度	連携の位置づけ	年度	1	史跡桑折西山城跡整備実施計画	あり	H24～R2	2	桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」	あり	H29～33	3	都市再生整備計画	なし	R1～35
	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度																
1	史跡桑折西山城跡整備実施計画	あり	H24～R2																
2	桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」	あり	H29～33																
3	都市再生整備計画	なし	R1～35																
<p>③ 効果発現の経緯と成果</p> <p>桑折町歴史的風致維持向上計画で計画前半の中心となる事業として位置付けている「史跡桑折西山城跡整備事業」が順調に進捗している。平成30年度に本丸の遺構復元整備が完成した。整備した史跡を活用し、町民の郷土愛の醸成と交流人口の拡大を図るため、令和元年度より3年間、令和3年度の「全国山城サミット桑折大会」の開催に向けて、「戦国山城を活かした献上桃の郷魅力発信プロジェクト」に取り組んだ。初年度の「桑折西山城復元祭」には県内外から800人の参加、2年目の「全国山城サミット桑折大会プレ大会『桑折西山城ライブ2020』」では、コロナ禍で町民限定となったが、700人の会場参加と配信により3,600回の視聴があった。</p> <p>整備の進捗とイベント開催、桑折町歴史案内人による活動の相乗効果により、平成27年度には302名であった桑折西山城跡への年間来場者が、令和元年度には1,939名と増加している。</p> <p>桑折西山城跡年間来場者数推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>302</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>370</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>512</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>804</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,939</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本丸設置マップ出庫数で算出</p>				年度	人数（人）	H27	302	H28	370	H29	512	H30	804	R1	1,939				
年度	人数（人）																		
H27	302																		
H28	370																		
H29	512																		
H30	804																		
R1	1,939																		
		 <p>桑折西山城復元祭 参加者全員で勝鬨</p>																	
		 <p>桑折町歴史散歩 桑折町歴史案内人が復元された遺構を案内</p>																	
		 <p>桑折西山城跡草刈ボランティア 地域住民や民間企業、役場職員が集結し愛護活動</p>																	
<p>④ 自己評価</p> <p>整備の進捗と山城サミット関連事業の開催により、城跡に対する関心が高まっている。来場者数も増加しているが、町民協力による草刈りボランティア参加人数も増加傾向にあり、文化財を後世に受け継いでいく意識も向上している。入場者は増加しているが、「桑折町総合計画」に掲げた10,000人には及ばない状況である。</p>																			
<p>⑤ 今後の対応</p> <p>3年間の継続事業として進めている令和3年度開催の「全国山城サミット桑折大会」成功に向け、引き続き事業を継続させる。</p>																			

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2								
効果	ii 歴史を活かしたまちづくり事業による認識の向上										
<p>① 効果の概要</p> <p>歴史まちづくり講演会、山城サミット関連事業開催により歴史遺産への認識が向上した。旧伊達郡役所、種徳美術館での企画展開催により、町の歴史や文化に対する認識が向上した。「桑折町歴史案内人」発足による、町内外の案内体制及び小中学生への伝承が充実した。</p>											
<p>② 関連する取り組み・計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>他の計画・制度</th> <th>連携の位置づけ</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」</td> <td>あり</td> <td>H29～R3</td> </tr> </tbody> </table>					他の計画・制度	連携の位置づけ	年度	1	桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」	あり	H29～R3
	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度								
1	桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」	あり	H29～R3								
<p>③ 効果発現の経緯と成果</p> <p>平成27年度より、「桑折町歴史まちづくり講演会」で、桑折西山城跡、半田銀山、仏教文化等を題材に、専門の講師を招聘し開催してきた。令和元年度からは、整備が進む史跡桑折西山城整備事業とリンクさせ、令和3年度の「全国山城サミット桑折大会」開催までの3年間の事業として、講演会や史跡見学会を中心とし、歴史に興味がなかった人でも参加したくなるイベント性を持たせた企画として実施している。</p> <p>旧伊達郡役所や桑折町種徳美術館において、町の歴史をテーマとした企画展、特別展を開催した。内容を歴史まちづくり講演会とリンクさせて開催したり、桑折西山城や伊達氏関連の展示、テレビや映画の放上映に合わせた企画による展示等の工夫をし、町の歴史に興味を持つ人がより一層増えるような内容での展示も企画した。</p> <p>平成29年度から、桑折町歴史案内人育成講座も開催し、町内外の方々に町の歴史的遺産を案内できる人材育成を図った。本町には、計画策定以前、文化財等を案内ができる人材が乏しかったが、本講座や商工会で取り組んだ町内歴史遺産を案内する事業を通じて人材育成し、令和3年3月現在、21名が桑折町歴史案内人として登録、町文化記念館に事務局を置き、来訪者の依頼に対応している。</p>											
<p>④ 自己評価</p> <p>歴史まちづくり講演会や歴史案内人育成講座を通じ、歴史に興味を持つ方が増加しつつある。山城サミットを目指した企画や展示は多くの人を集めることができ、保存活用を含め大きく効果を挙げられている。タレントの起用や、テレビ、映画に内容を合わせた事業は、SNSやインスタ等にも取り上げられ、本町の歴史に興味がなかった人への広がりにつなげることができた。</p>		 <p>桑折西山城復元祭 城郭研究の第一人者千田嘉博氏による城跡現地での野外講演</p>  <p>旧伊達郡役所「エール巡回展」NHKのドラマ関連事業の展示に、本町の関連資料を同時開催で展示</p>  <p>歴史案内人認定式 重要文化財旧伊達郡役所で認定</p>									
<p>⑤ 今後の対応</p> <p>これまで本町の歴史に興味を持ってくれていた人や歴史マニア、研究家にリピーターとなってもらうとともに、さらに来訪者の拡大、特に若い世代に向けての発信が必要。歴史案内人を組織化していく。</p>											

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
取り組み	A 史跡桑折西山城跡整備事業	種別	歴史的風致維持向上施設
<p>① 取り組み概要</p> <p>公有化、発掘調査を進めてきた史跡桑折西山城跡の整備を平成28年度より5ヶ年計画で実施。</p> <p>戦国大名伊達氏の本城として築かれたことが文献資料で明らかであり、土塁、空堀等の表面遺構が良好に残され、発掘調査で伊達氏が政治を行った建物跡等が確認されている城跡の歴史を学びながら、眺望や散策を楽しめる史跡公園として整備している。</p> <p>発掘調査で確認された建物跡の平面表示復元や土塁、空堀の盛土復元、特徴的な枡形状虎口の遺構整備や眺望確保のための樹木伐採及び園路・サイン等の整備を行っている。</p> <p>令和元年度からは、城跡を中心にした「戦国山城を活かした献上桃の郷魅力発信プロジェクト」として、令和3年度の「全国山城サミット桑折大会」開催を目指し、城郭や考古学の第一人者を招き、城跡や文化施設での歴史トーク、実際に遺構を巡る歴史散歩等を開催している。</p>		 <p>遺構整備が進んだ桑折西山城跡本丸</p>  <p>桑折西山城復元祭 城郭考古学者千田嘉博氏の解説で西山城を巡る</p>	
<p>② 自己評価</p> <p>史跡桑折西山城跡整備により、発掘調査で検出された遺構の平面表示復元や土塁や堀の失われた部分を復元し、サインによって解説することにより、城がどのようなものであったのかをわかりやすく示すことができた。以前に比べ多くの方が城跡を訪問している他、個人のブログ等で紹介されるようになった。平成30年度の本丸遺構整備の完成を受け、史跡を活かすため、3年間の「全国山城サミット桑折大会」事業に着手し、知名度、来訪者数ともに増大してきており、一定の効果を挙げている。</p>			
外部有識者名	東北福祉大学大学院嘱託教授 岡田清一		
外部評価実施日	令和3年6月7日		
<p>③ 有識者コメント</p> <p>桑折西山城跡の整備が順調に進んでいること、それにともなって多くの方々が城跡を見学し、情報発信されていることは評価できると思う。「歴史を活かしたまちづくり事業」とも関連するが、来訪者に対応できる「桑折町歴史案内人」養成のさらなる充実(世代交代にともなう若年層への波及)、さらに、地元の郷土史研究会のような団体と連携し、歴史資料を読んで学習する機会を設定するなど、質的向上が求められるとともに、興味・関心を持つ対象者(町民に限定しない)の増加などもさらに必要になってくるものと思われる。</p>			
<p>④ 今後の対応</p> <p>全国山城サミット桑折大会開催等により向上した歴史遺産に対する町民意識に基づき、保存会等を組織し、史跡の保存と活用、管理を町民との協働で進めていく。歴史案内人育成事業は、今後も継続して実施し、案内人の組織化を図り、学習会を実施する等して、体制の充実を図りたい。</p>			

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
取り組み	B 歴史を活かしたまちづくり事業	種別	その他
<p>① 取り組み概要</p> <p>桑折町の歴史や文化財を題材とした「歴史まちづくり講演会」を開催した。令和元年度より、令和3年度の「全国山城サミット桑折大会」開催に向け、これを拡大継承した「戦国山城を活かした献上桃の郷魅力発信プロジェクト」事業を展開している。</p> <p>地域の歴史や歴史的遺産を紹介する企画展を旧伊達郡役所や種徳美術館で開催している。企画展の内容を「歴史まちづくり講演会」の主題とすることにより、相乗効果を狙った。また、令和元年度からは、桑折西山城跡整備事業の進捗と、山城サミット関連事業への効果を上げるため、城館や伊達氏の関する展示を実施し、歴史に対する興味関心を広めるため、旧伊達郡役所において、NHKの連続ドラマ巡回展を誘致し、関連資料を併せて展示したり、半田銀山とその経営者五代友厚関連企画展を伝記映画の公開に合わせて開催する等歴史に対する興味関心を広める工夫をした。</p> <div data-bbox="1023 293 1390 539" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1023 551 1385 629">桑折町種徳美術館「西根堰の歴史」展 西根堰について歴史まちづくり講演会を開催した後の特別ナイトミュージアム</p> <div data-bbox="1023 640 1390 887" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1007 891 1366 943">歴史まちづくり講演会 史跡桑折西山城跡整備指導委員松岡進氏による講演</p>			
<p>② 自己評価</p> <p>歴史まちづくり講演会や旧伊達郡役所・種徳美術館の展示では、史跡の整備事業や発掘等調査の進捗、西根堰開削400年等の旬な話題に合わせ、より歴史や文化財に興味を持ってもらえるような企画で、来場者も増え効果を挙げることができた。また、内容でテレビや映画の公開に合わせた企画展では、ドラマに興味を持った方々が多く訪れたり、出演者のファン層の間でも話題となり、ブログやInstagram等でも取り上げられる等、町外の方にも桑折町の歴史的遺産に興味を持ち、情報が拡散される効果を上げ、これまで本町や町の歴史に興味を持っていなかった層にも広げることができた。</p>			
外部有識者名	東北福祉大学大学院嘱託教授 岡田清一		
外部評価実施日	令和3年6月7日		
<p>③ 有識者コメント</p> <p>歴史まちづくり講演会や旧伊達郡役所・種徳美術館での展示など、住民対象のさまざまな企画・情報発信は評価できるので、今後もより充実した内容で継続されることを希望する。なお、他自治体の類例をみると、参加者は、比較的高齢者が多いことを聞いている。将来のまちづくりに寄与できる若年層、とくに小・中学生を対象とした学習機会の充実、たとえば、「総合的学習の時間」で行われる「郷土学習」に協力しているようだが、一方的な説明・講話だけでなく、児童・生徒が「調べた学習」の成果を旧伊達郡役所などで発表（展示・口頭）できるような機会があれば、新しい学習指導要領に対応した学習機会となり、より高いモチベーションを持つことができるのではないかとと思う。</p>			
<p>④ 今後の対応</p> <p>旧伊達郡役所・種徳美術館を歴史遺産巡りの拠点となるような施設に位置づけ、企画展や情報発信体制の充実を図りたい。小中学生の学習活動を積極的に支援し、「全国山城サミット桑折大会」で発表の場を作る等、充実させ、歴史遺産や伝統文化の継承を担う若い世代の認識向上に努めていきたい。</p>			

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
歴史的風致	1 伊達氏発祥の地に見る歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 桑折西山城跡等伊達氏関連遺跡の保存・整備・活用 II 歴史的風致の認識向上		

① 歴史的風致の概要

桑折町には、戦国時代の伊達氏居城の桑折西山城跡、伊達氏初代朝宗の墓所、伊達五山の一つ観音寺など、伊達氏ゆかりの遺跡が数多く残されている。地域の住民は、「伊達氏発祥の地桑折」という誇りを持ち、遺跡の保存・愛護活動が今も受け継がれている。

② 維持向上の経緯と成果

発掘調査で確認されていたが、地下遺構として見る事ができなかった城の建物跡を平面表示したり、埋もれていた虎口遺構の土砂を除去し、崩落防止措置を行って顕在化し、失われた土塁や堀を盛土復元する等「見える化」を図った。

本丸周辺樹木を伐採したことにより、城跡からの展望が開け、山城本来の眺望が楽しめるようになった。

また、城跡の麓にある県指定天然記念物「万正寺の大カヤ」周辺整備を進めるとともに、隣接する老人福祉センター大かや園に城跡のガイダンス施設を設置した。また、大手口にサイン、遊歩道を整備し、城跡へのアクセスを良くした。サインや遊歩道等を設置することにより、遺構見学の順路や史跡をより深く知ることができるような仕掛けづくりを行った。

これらにより、見学環境が飛躍的に向上した。また、遺跡を活用した山城関連イベントを開催することにより、全国に周知を図ることができ、町内にも歴史遺産を後世に伝えていく意識を醸成することができた。



本丸建物跡を案内する桑折町歴史案内人(全国山城サミット桑折大会プレ大会)



H28.9



R2.3

樹木伐採し、視界が開けた本丸

③ 自己評価

城の内外を総合的に整備し、史跡公園として内容を充実させることができたとともに、城内からの景観、城外から戦国山城の形態が分かるような整備も図ることができた。整備完了を待たずに、活用事業にも着手し、文化財の活用面からも良好に事業を進めることができています。

④ 今後の対応

整備事業及び活用事業の成果から、歴史遺産に対する認識もかなり深まっており、今後、全国山城サミット桑折大会実行委員会を保存会組織とする等して、町民全員で歴史遺産を守っていく体制づくりを行う。

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
歴史的風致	2 桑折宿と諏訪神社の夏祭りに見る歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	II 良好な町なみの整備・管理と周辺環境の景観保全・形成 III 歴史的風致の向上 V 歴史と伝統を反映した人々の活動の継承		

① 歴史的風致の概要

奥州街道の宿場町として発展した桑折町の中心市街地では、現在も地域の人々が大切に守り続けてきた諏訪神社の祭りが毎年行われている。旧伊達郡役所や桑折宿の町家などの歴史的建造物と一体となり、各若連が競いながら屋台を巡行させる祭礼は、桑折の住民の誇りとして伝えられている。

② 維持向上の経緯と成果

桑折町の夏の風物詩となっている諏訪神社の例大祭を調査、記録した。動画でも記録を行い、その一部は、桑折町歴史観光PR動画にも収録し、DVD化。町ホームページで見ることができ、旧伊達郡役所で公開している。

町の中心市街地である旧桑折宿の町並は、震災以来、土蔵や石蔵を中心に古い建物が取り壊されているが、このことは、計画策定以降も変わらずであるが続く傾向にある。計画策定時のデータを基礎に調査は継続してきた。しかし、令和3年3月の福島県沖地震により再び歴史的建造物が被災し、取壊しを予定している建物もある等、事業に見直しが必要になっている。

町のシンボルである旧伊達郡役所は、周囲の門扉、塀、柵、倉庫、トイレ等が老朽化している。門扉、塀、柵については、明治頃の古写真を参考に、当時を再現するかたちで改修を行うため、令和2年度に実施設計を行った。



諏訪神社例大祭の調査と記録 新しい歴史的風致となりつつある御柱祭



旧伊達郡役所の門と塀柵 現況



旧伊達郡役所の門と塀柵 再現イメージ

③ 自己評価

地域の代表的な祭礼である諏訪神社祭礼の記録及び動画撮影の上、町のPR映像で多くの方に知ってもらえることになった。特に計画初年度に6年毎に行われる御柱祭を取材できたことは、新たな伝統の記録を採れ、将来的に大きな資料を残すことができた。旧伊達郡役所周辺の景観整備に着手できたことは大きな意義がある反面、桑折宿の景観保全についてはうまく進捗させることができないうちに、再度の地震被害があり、歴史的建造物を維持できない状況を招いた。

④ 今後の対応

旧伊達郡役所周辺整備を完成させる。
桑折宿の景観形成について、事業の見直しを図る。

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
歴史的風致	3 西根堰と水路網に見る歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	Ⅱ 良好な町なみの整備・管理と周辺環境の景観保全・形成 Ⅲ 歴史的風致の向上		

① 歴史的風致の概要

江戸時代前期の米沢藩政下、桑折村の郡役佐藤新右衛門等の尽力により、高度な技術を用いて、水掛かりの悪い扇状地に美田をもたらした「西根堰」。農業に限らず、西根堰から分水された水路は、桑折市街地の宅地内に引き込まれ、生活用水や防火用水としても利用されている。西根堰は、桑折町民にとって誇りであり、今も身近な存在である。

② 維持向上の経緯と成果

西根堰開削400周年に合わせ、平成28年から29年にかけてウォーキング大会や桑折町種徳美術館、旧伊達郡役所で企画展、堰の歴史を題材とした歴史まちづくり講演会を実施した。メモリアルイヤーであることを含め、堰が地域経済に大きく貢献したこと、桑折町地域が開削の中心に位置づけられていたことを広めることができた。

伊達西根堰土地改良区事業として、西根上堰の芝堤隣接地に藤倉ダムにあった藤倉神社(祭神、佐藤新右衛門、古河善兵衛)が遷宮され、ポケットパーク的な役割を果たしている。



西根堰をテーマに開催された平成29年度の歴史まちづくり講演会



種徳美術館と旧伊達郡役所で開催された西根堰の歴史展



西根堰ウォーク



藤倉神社 西根堰芝堤頭首工に整備された。

③ 自己評価

西根堰のメモリアルイヤーに合わせ、歴史に関する企画展や西根堰を題材にした「歴史まちづくり講演会」の開催、ウォーキングを民間と共同で開催し、歴史遺産として認識を深めることに成功した。今後の事業展開に対する気運を盛り上げることができた。

④ 今後の対応

西根堰から分岐する石組水路周辺の修景事業の展開や、勾配がゆるやかな西根堰沿線築上の道路をウォーキングコースとしての活用し、産業遺産に触れながら活動を展開する。

市町村名	桑折町	評価対象年度	H22～R2
歴史的風致	4 阿武隈川氾濫原と果樹栽培に見る歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	II 良好な町なみの整備・管理と周辺環境の景観保全・形成 III 歴史的風致の向上 IV 情報発信、周遊性向上		

① 歴史的風致の概要

阿武隈川氾濫原では、自然堤防や旧河道等の地形や、川がもたらす砂を含む地質を巧みに活かし、洪水と戦いながら、かつては桑、現在は果樹といった土地に適した作物が栽培されてきた。摘蓄・摘花から果実の収穫まで、モモ畑で行われる一連の農作業は、地域の風物詩、原風景である。

② 維持向上の経緯と成果

平成30年度に桑折町かわまちづくり計画が登録され、阿武隈川堤防の外部と内部を有機的に結びつける整備計画を策定することができた。事業への機運を醸成するため、カヌー体験やサイクリング事業を展開した。

天皇皇后両陛下（現上皇皇后陛下）がご行幸啓、皇太子皇太子妃両殿下（現天皇皇后両陛下）がご行啓された歴史を持つ桃畑において、献上桃の郷BBQフェスティバルを開催し、町内外の方々に本町の主要産業である果樹栽培に親しんでもらうことができた。

旧桑折宿であった中心市街地から阿武隈川氾濫原の果樹栽培地帯を巡る桑折かわまちウォーキングコースを整備し、阿武隈川氾濫原の旧堤防や船着場、河岸場を桃畑の中を歩きながら巡り、かつ起点をJR桑折駅とすることで、周辺の在郷町であった桑折宿ともつながった歴史をたどることができるコースとして整備した。



桑折かわまちウォーキングコース 蒸気のサクラや上郡河岸跡、行幸啓記念碑と中心市街地を結ぶコースを整備



あぶくまウォーク かわまちウォーキングコースを歴史案内人の解説で歩く

③ 自己評価

阿武隈川氾濫原にある旧堤防や船着場等を巡り、歴史を知りながら健康づくりができるウォーキングコースを設定することができた。中心市街地とも繋げているため、養蚕や果樹の集散地として栄えた桑折宿や桑折駅と一体となった歴史遺産を巡るコースとすることができた。



桃源郷BBQフェスティバル

④ 今後の対応

歴史的風致維持向上計画事業として実施している桑折町かわまちづくり事業として、桃源郷への案内板等アクセス整備や桃の郷トイレ改修を実施する。

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
歴史的風致	5 半田の京都祇園囃子に見る歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	Ⅲ 歴史的風致の向上 Ⅴ 歴史と伝統を反映した人々の活動の継承		

① 歴史的風致の概要

江戸時代に京都から伝えられたといわれる「京都祇園囃子」は、地域の人々の強い意志と熱意で絶えることなく伝承され、その正調といわれる「堰東京都祇園囃子」は、町の無形民俗文化財に指定されている。今も、南半田の八幡神社や、北半田の益子神社の祭礼で演奏され、半田地区の春または秋の風物詩となっている。

② 維持向上の経緯と成果

半田京都祇園囃子が演奏される南半田八幡神社、益子神社の例大祭を調査、記録した。半田京都祇園囃子は動画を撮影し、桑折町歴史観光PR映像に掲載し、DVD化した。町ホームページに掲載し、閲覧できるようにした他、旧伊達郡役所で放映している。

祇園囃子保存団体の連絡協議団体であった桑折町祇園ばやし振興会に補助金を支給し、支援を行った。かつ、田町町内会、桐ヶ窪町内会等個別の保存団体に対し、コミュニティー助成事業を活用し、山車や太鼓等の楽器や道具類の修理の支援を行った。

「こおり満福まつり」や桑折西山城跡復元祭等のイベントにおいて、祇園囃子披露を依頼し、伝統文化を広く知ってもらう企画を実施した。

支援を行っていた各保存会の連絡協議団体の「桑折町祇園ばやし振興会」が、高齢化等のため解散してしまった。



益子神社例大祭 囃子には、町文化財の堰東京都祇園囃子(下半田町内会)が参加



修理完成に祇園囃子を披露する田町町内会



桑折西山城復元祭で祇園囃子を演奏する桐ヶ窪太鼓保存会(桐組)

③ 自己評価

補助金というかたちで活動や道具修繕に対する支援や、イベントへの公演依頼を積極的に行い、伝統芸能の披露の機会を増やすことはできたと考える。半面、連絡協議団体であった祇園ばやし振興会の支援を行ってきたが、保存団体の高齢化や、後継者不足のため解散となってしまった。

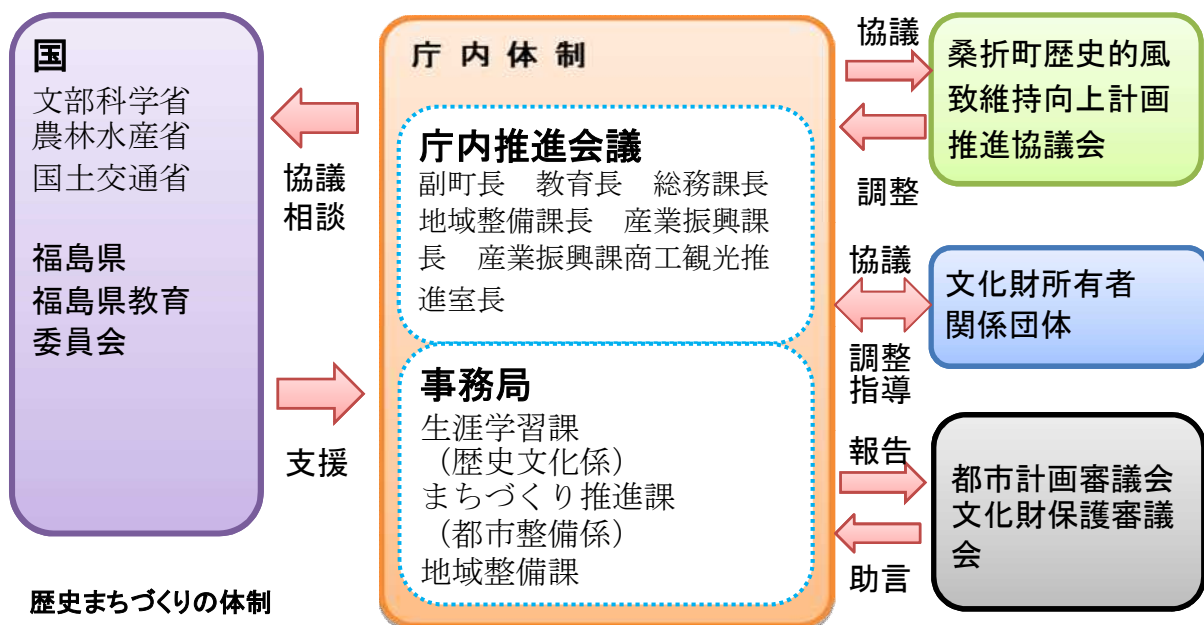
④ 今後の対応

半田京都祇園囃子に対する助成は、今後、個別の保存会への支援で対応。地区の祭礼以外にも、発表の機会を設定することで、若い世代が伝統芸能に触れる機会を増やしていく。

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
------	-----	--------	--------

① 庁内組織の体制・変化

桑折町歴史的風致維持向上計画の策定は、政策推進課歴史まちづくり係で行った。
 事業実施の平成28年度からは、組織改編を行い、まちづくり推進課を新設し、歴史まちづくり係が異動して担当した。
 平成30年度からは、歴史文化係を教育委員会部局に移し、生涯学習課歴史文化係とし、まちづくり推進課都市整備係とともに事務局を担う体制とし事業を実施している。桑折町歴史的風致維持向上計画庁内推進会議を設置し、各課連携して事業を実施している。



② 庁内の意見・評価

- ・計画前半の史跡桑折西山城跡及びその周辺整備等、文化財を中心とした整備を実施するため、平成30年度から、歴史まちづくり担当を教育委員会部局の生涯学習課が担う体制となり、文化財保護・活用を中核とした事業を行っている。
- ・まちづくり推進課都市整備係が事務局に入り、都市再生整備計画の取りまとめを行う体制により、関係各課がそれぞれの事業を円滑に進められている。
- ・全国山城サミット開催については、費用を含めて計画性を持って実施していく必要がある。

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2
<p>① 住民意見</p> <p>「新しい総合計画に向けた町民アンケート」結果 （令和元年10月4日～令和元年10月18日実施）</p> <p>◆「(4)新しいまちづくりに向けて重要と思う取組について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■観光振興について重要と思うこと 2位: 町PRイベントの開催(観光物産、地域づくり、歴史文化自然) 23.4% ■歴史まちづくりについて重要と思うこと 1位: 桑折西山城跡・旧伊達郡役所などの史跡の保存と活用 40.4% 2位: 歴史的な町並み景観(店蔵や古い住宅)の保護 17.7% 3位: 伝統分解(祭礼等)や文化財の継承 16.3% 4位: 史跡や文化財の保存・活用に取り組む団体の育成 9.3% <p>◆「満足度」×「重要度」の分析</p> <p>歴史まちづくり 歴史文化財の保存と活用: 満足度3.44ポイント、重要度3.84ポイント タイプ I (満足度は高いが重要度は低い) ニーズ得点33位 歴史や文化を学ぶ機会: 満足度3.24ポイント、重要度3.55ポイント タイプ I (満足度は高いが重要度は低い) ニーズ得点29位 満足度は高いが、緊急性は低いため、現在の対応の維持が必要とされる項目に該当</p> <p>◆自由記載 桑折町の歴史などのPRを多くし、人が集まって来ても農家のひとたちが作った野菜米などを売る直売所や食事ができるレストランなどがなく、人の足を止め、お金を落としてくれる(使ってくれる)所があれば良いと思う。 桑折町のメインストリートの古い町並みを生かして、にぎわう商店街にしてほしい。</p>			
<p>② 協議会におけるコメント</p> <p>○史跡桑折西山城跡については、「全国山城サミット」開催後も保護・活用が継続できるような取組みを行う必要がある。</p> <p>○子どもの教育について、学習指導要領の改正に則り、日常的に学び、まとめ、表現するという観点から、講師を派遣して一方的に話すのではなく、児童・生徒が調べ、発表するときに参加し、アドバイスをする等、一緒に学ぶ姿勢が大切である。</p> <p>○歴史案内人講座については、登録者数の増を含め、更なる充実を図って欲しい。</p> <p>○登録有形文化財の登録を進め、文化財の保存・活用の推進を図る必要がある。</p> <p>○進捗していない景観については、所有者と本協議会との間で考え方が乖離していると思う。共通認識がないと、所有者が簡単に解体に走ることとなる。守っていくべきとの認識は理解するが、上から目線で計画を作っても立ち行かない。合意形成するため、焦らず取組を考えていかなければならない。</p>			

市町村名	桑折町	評価対象年度	H28～R2年
① 全体の課題			
<p>1. 景観関係の準備が整わないうちに福島県沖地震が発生し、歴史的建造物が被災した。所有者により、解体の意向があるなど維持が困難になっている。</p> <p>2. 桑折西山城跡及び周辺整備については、草刈りや道路維持等、維持・管理面の負担が大きくなっている。</p>			
② 今後の対応			
<p>1. 福島県沖地震により被災した歴史的建造物については、今後の対応方針について関係者と協議を進めていく。</p> <p>2. 整備が進んだ史跡桑折西山城跡の保存、維持、管理について、保存団体を組織し、住民との協働で保存と活用を図る。</p> <p>3. 学校と連携を図りながら郷土学習について、手法を調査、研究し、若い世代に歴史遺産の継承を図る。</p>			